

令和6年度事業報告

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

I 部門別の事業活動概要

公益目的事業

1 沿岸漁場整備開発促進事業

(1) 受託事業

①水産環境整備事業漁場利用状況調査業務（県沿岸漁業振興課）

県内各所の一本釣漁業者に人工魚礁を記載した調査野帳を配付し、人工魚礁の利用回数、漁獲される魚種、漁獲量等を野帳に記録してもらい、その野帳を基に記録を取りまとめ、人工魚礁の利用状況調査を行った。

○標本船37隻による野帳記入・データとりまとめ

②種苗放流による資源造成支援事業

【(公社) 全国豊かな海づくり推進協会を事務局とした日本海中西部海域栽培漁業推進協議会で実施】

日本海中西部海域（石川、福井、京都、兵庫、鳥取、島根、山口県を対象）の関係県で連携して、放流種苗の生残率の向上と、効率的な資源維持増大を図る目的で、放流効果の調査を行った。

③令和5年度 隠岐地区知夫工区藻場造成（保全事業）調査業務

発注者：一般社団法人水産土木建設技術センター松江支所

隠岐地区(知夫工区)において計画されている藻場造成の一環として、当該地区における漁場環境（海底地形、流況、底質、餌料環境等）を調査し、藻場礁の基本設計に反映させることを目的とし、隠岐郡知夫村の浅島東側海底の調査を行った。

④多古地区増殖場環境調査

発注者：島根県漁港漁場協会

島根県漁港漁場協会が招聘したコンサルタントの指導を踏まえた松江市多古地区における漁場整備に関する調査を行い、海底地形、魚礁設置状況、生物調査等を行った。

⑤漁業の担い手対策関連業務

○県からの要請があり、漁業就業支援フェアに参加し、島根県への漁業就業を希望される方に島根県の漁業の状況等について説明を行った。

○漁業就業支援フェアの状況

- | | | | |
|----------------------------|--------|----|-----------|
| ・ 漁業就業者支援フェア 2024(R6.7.6) | 説明対象者数 | 5名 | |
| ・ 漁業就業者支援フェア 2024(R6.7.15) | 説明対象者数 | 4名 | |
| ・ 漁業就業者支援フェア 2024(R6.7.27) | 説明対象者数 | 6名 | 合計相談者 15名 |

(2) 直営調査

⑥磯焼け対策調査事業

潜水調査については、ウニ等の海藻を食害する生物の密度低減状況や、藻場の繁茂状況を観察することを目的として計画していたが、他の外部委託調査との調整の結果、予定期間が冬季に移行した。その後、天候等の条件により実施の機会を確保するには至らず、当該年度内での調査は見送る形となった。

なお、当該調査は継続事業であることから、令和7年度は早期の段階からの実施を予定している。

(3)助成事業

水産振興助成事業実施規程に基づき公募を行い、選考委員会において審査した結果、下記の団体を対象として助成を行った。

助成先と助成対象事業	事業名	助成金額
片江漁業会	クロウニ試験養殖事業	120,968 円
浜田地区沿岸漁業部会	マナマコ種苗放流事業	117,125 円
特定非営利活動法人アンダンテ 21	高津川 森・川・海自然塾事業	500,000 円

2 栽培漁業センター事業（県受託事業）

(1) 業務の概要

- ①作り育てる漁業（栽培漁業）を推進するための健苗性の高い放流用種苗及び養殖用種苗を生産し、生産した種苗の出荷・引き渡しを速やかに実施した。
- ②種苗生産施設や機器、調査船、公用車の適切な維持管理を行うとともに、島根県の行う水質環境等の調査に協力した。

【主な業務日程】

[illegible]

(2) 放流・養殖用種苗の生産に関する業務及び出荷業務

① ヒラメ種苗生産

受託内容

平均50mm種苗を30万尾生産する。

結果

令和6年1月上旬に種苗生産を開始したが、浮上卵が計画通りの数を確保できなかった。このため公益財団法人鳥取県栽培漁業協会よりヒラメ卵を譲渡してもらい生産を行った。その結果、順調に生産を行うことができた。

採卵不調の原因は、夏場の高水温における親魚の斃死によるものと考えられた。

出荷前検査としてクドア症の検査(水産技術センター内水面浅海部に依頼、PCR法を用い検査)を行い、陰性を確認した。

受託内容の通りに平均50mm、30万尾の種苗を生産し、島根県職員による検査を受けた後に、出雲西部部会、石見西部部会に引き渡して放流を行った。

【無眼側黒化の出現割合】

正常魚	軽度	中度	重度
95%	5%	0%	0%

② マダイ種苗生産

受託内容

平均50mmを50万尾生産する。

結果

令和6年5月下旬より生産を開始した。生産初期には放流前ヒラメも並行して飼育していたため疾病の発生等を心配していたが、結果として計画通りの生産を実施できた。

省力化、経費削減を目的として飼育水槽数を減らし、海上筏への沖出しも早めた。

生産初期の稚魚の大量斃死防止対策や鰓形成期の奇形防止対策を講じた結果、今年度の生産でも大量斃死及び目立った奇形も発生しなかった。以上のことから、健苗性の高い種苗が出来たと考える。

受託内容の通り、平均50mm、50万尾の種苗生産を行い、島根県職員による検査を受けた後に放流を行った。

③ イワガキ種苗生産

受託内容

コレクター 1 枚当たり種苗 10 個以上付着のコレクターを 11 万枚生産する。

結果

計画枚数の 11 万枚に対し、生産者からの要望は、8 月末までの早期出荷分が 15,000 枚、9 月以降の出荷分が 106,000 枚で、合計 121,000 枚になった。

実際の生産では、1 回次と 3 回次の種苗は生産期間を通して付着状況が良好で、A 規格の割合が高く、本年度の出荷の大部分を占めた。2 回次は付着状況が不良で、A 規格の割合が想定よりも低かった。4 回次は陸上管理時点では付着状況が良好だったが、沖出しの時期が悪く、低気温と地先での餌料不足の影響により、ほぼすべてが C 規格となり廃棄した。

110,000 枚の生産計画を達成し、要望分 121,000 枚もすべての出荷を令和 7 年 2 月中に完了した。なお、余剰種苗がなかったため追加配付は行わなかった。

【イワガキ生産状況】

生産回次	沖出し枚数	A 規格出荷枚数
1 回次（5 月 16 日開始）	62,160 枚	58,500 枚
2 回次（6 月 28 日開始）	49,728 枚	17,400 枚
3 回次（10 月 3 日開始）	62,160 枚	45,100 枚
4 回次（11 月 13 日開始）	C 規格となり出荷対象外とした	
合計	174,048 枚	121,000 枚

※出荷枚数には B 規格(A 換算済み)での出荷分も含む

※今年度の出荷枚数 A 規格 121,000 枚

昨年度の出荷枚数（追加要望含む） A 規格 104,775 枚

（3）施設等の維持管理に関する業務

種苗生産業務に影響を及ぼさないように、建物・設備及び外構等の性能が常時適切な状態に保たれるように維持管理を行った。

主な管理状況と施設の修繕状況は以下のとおり

【施設の維持管理状況】

項目	内容
種苗生産施設（上屋・水槽等）	・点検、清掃等施設の日常管理。 ・県沿岸漁業振興課に施設の老朽化等の状況報告。

機器の保守点検と修繕	・故障機器の修繕工事。 ・機器の維持管理。 ・資格や専門技術を必要とする電気工作物、ボイラー等については、専門業者に委託して保守点検を実施。
調査船、公用車の維持管理	・日常点検、法定検査や部品交換等を実施。
設備の修繕状況	・魚類棟地下タンク返油管バルブ修理 ・新貝類棟冷蔵庫更新 ・ろ過機貯水槽水位センサー交換 ・管理棟事務室コピー機更新 ・新貝類棟温水ポンプ(ラインポンプ)更新 ・取水ポンプ室揚水ポンプ逆止弁(バイパス弁)交換 ・魚類棟ブレーカー回り修繕 ・魚類棟水銀灯 LED ライト更新 ・魚類棟排水用配管修繕 ・新貝類棟電動弁交換 ・新貝類棟ブロワー修理 ・網洗い機修理

3 ワカメ種苗生産事業試験（直営事業）

県水産技術センター浅海科からフリー配偶体を譲り受け、旧イワガキ棟にて1 t パンライ
ト水槽5基に採苗枠200枠を収容し種苗生産を行った。

結果

10月8日に採苗を開始し、11月1日に1tパンライトから外の長水槽に移して馴致を行った。順調に生育し11月14日～20日にかけて生産者へ配布した。(西ノ島67枠、海士25枠、知夫50枠)

【ワカメ生産状況】

生 産 回 次	生産枠数	出荷枠数
1 回次（1 0 月 8 日に生産を開始）	2 0 0 枠	1 4 2 枠

主な業務 日程	項目／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	採苗												
	種糸管理												
	出荷												

4 種苗生産に係る課題等

(1) 種苗生産について

高水温の影響により、ヒラメやマダイの親魚が斃死する事例が発生し、また、イワガキの3回次以降の生産開始時期も、海水温の低下が遅れることで遅延している。このような状況から、高水温対策は親魚の飼育および円滑なイワガキ生産において、不可欠であると考えられる。

種別	問題点	課題	対策	
			個別	全体
ヒラメ	親魚の斃死	親魚の管理		高水温対策 【具体的な対策例】 ・冷却装置の導入 チラーなどの冷却装置を導入し、飼育水を冷却する。 ・地下海水の利用 水温が安定している地下海水を利用する。 ・取水管の延長 取水口の深度を深くし、取水海水温を低くする。
マダイ	親魚の斃死 (これまでにな い症状での斃死)	親魚の管理	ストレス対策 ・親魚筏のサイズを拡大。 ・囲い網のサイズを拡大 且つ深くする。	
イワガキ	3回次以降の 生産開始遅延	種苗生産の 安定化		

5 放流事業

(1) 放 流

令和5年に策定された島根県第8次栽培漁業基本計画に基づき、県下6地域の水産振興部会と連携しながら、マダイ稚魚の放流、ヒラメ稚魚放流、また、新たにキジハタ・クエ稚魚放流を実施し、積極的に資源の回復、漁業生産の増大を図った。

① ヒラメ放流

令和6年5月に50mmのヒラメ30万尾を県内19か所（出雲東部6か所、出雲西部3か所、石見東部5か所、石見西部5か所）において放流した。

【ヒラメの放流結果】

実施部会	月 日	放 流		
		数量 (尾)	サイズ (mm)	地域
出雲東部	5月26日	44,600	57	松江市
出雲西部	5月24日	36,500	69	出雲市

石見東部	5月15日 16日、19日	89,200	80	大田市
石見西部	5月9日、12日	129,700	62	浜田市、江津市 益田市
合計数量		300,000		

② マダイ放流

令和6年8月に50mmのマダイ50万尾を、隠岐諸島1か所と出雲東部6か所に放流した。

【マダイの放流結果】

実施部会	月 日	放 流		
		数量（尾）	サイズ（mm）	地域
隠岐島前	8月9日～28日	230,700	65	島前地域
隠岐島後	8月27日28日	192,400	69	島前地域
出雲東部	8月9日 13日、23日	76,900	60	松江市
合計数量		500,000		

※隠岐島後部会の放流場所については、船での輸送による斃死リスクを避けるため、令和3年度の部会総会にて西ノ島町で放流することが決定したため、今年度も西ノ島町で放流を行った。

③ キジハタ・クエ放流

令和6年10月に、50mmと80mmのキジハタ3.7万尾を、県内17か所（隠岐島前1か所、隠岐島後2か所、出雲東部6か所、石見東部3か所、石見西部5か所）、12月にクエ1千尾を出雲西部2か所において放流を行った。

【キジハタ・クエの放流結果】

種苗名	実施部会	放 流		
		数量（尾）	サイズ（mm）	地域
キジハタ	隠岐島前	8,325	80	海士町
	隠岐島後	7,565	80	隠岐の島町
	出雲東部	7,230	80	松江市
	石見東部	3,635	80	大田市
	石見西部	10,930	50	江津市・益田市
	合計数量	37,685		
クエ	出雲西部	1,610	130	出雲市

(2) 放流効果調査（集計期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）

マダイの放流効果調査を西ノ島町の市場において22回、大田市和江の市場において3回、浜田市原井の市場において4回、ヒラメの放流効果調査を大田市和江の市場において6回、浜田市原井の市場において4回、合計39回実施した。

調査では、市場に水揚げされたマダイ・ヒラメの全長を測定し、天然魚と放流魚を区別するために鼻孔連結の有無や無眼側の黒化を確認して混獲率を算出した。

大田市和江・浜田市原井におけるマダイ、ヒラメについては、水産技術センターが調査を行い、データを共有している。

【市場調査結果】

魚種	調査場所	調査内容				混獲率 (%)	混獲率 補正 (%)
		漁法	調査回数 (回)	調査尾数 (尾)	標識魚 (尾)		
マダイ	西ノ島町・浦郷	定置網・刺網・一本釣	22	765	24	3.1	6.0
	浜田市・原井	沖合底引き網	4	1,300	2	0.2	0.3
	大田市・和江	小型底引き網	3	714	0	0.0	0.0
ヒラメ	浜田市・原井	沖合底引き網	4	467	23	4.9	8.6
	大田市・和江	小型底引き網	6	335	17	5.1	8.9

(3) 栽培漁業のPR活動

例年、漁業関係者が地先海域の資源を管理しながら増やしていくため、積極的な活動を行っている。また、栽培漁業の重要性を一般の方々に広く知ってもらえるよう、県内各地で小学生や保育園児等を対象に稚魚の体験放流事業を実施している。

令和6年度は島前地区でのマダイ体験放流と、出雲西部地区、石見東部区、石見西部地区でのヒラメ体験放流を実施した。また、イベント参加として西ノ島町で開催した、ギョギョギョ魚フェスタにおいて、マダイの展示と体験放流を実施した。

【ヒラメ・マダイ体験放流の状況（開催回数10回、合計参加人数337名）】

魚種	部会名	開催日	放流場所	参加者
マダイ	隠岐島前	9月3日	知夫村 来居湾	知夫小学校 24名
		9月4日	海士町 日ノ津港	福井小学校 11名
		9月10日	西ノ島町 美田湾	西ノ島小学校 22名 美田保育園 26名
ヒラメ	出雲西部	5月21日	出雲市 きづき海浜公園	大社小学校 38名
	石見東部	5月27日	大田市 温泉津湾	温泉津保育所 12名

			大田市 仁摩漁港	くり保育園 11 名 仁摩保育所 17 名 みどり保育園 1 名
		5 月 28 日	大田市 波根漁港海岸	朝波小学校 19 名
			大田市 久手漁港	久手小学校 60 名 あけぼのこども園 21 名
		5 月 30 日	大田市 和江漁港	静間小学校 40 名
	石見西部	4 月 21 日	浜田市 おおうらの浜	雲城小学校 17 名 今福小学校 10 名 波佐小学校 8 名

【イベント参加】

開催地	開催日	イベント名	内容
西ノ島町	12 月 1 日	ギョギョギョ魚フェスタ	マダイ稚魚展示 マダイ体験放流

6 種苗供給事業

会員の要望に基づき、栽培漁業の推進及び養殖漁業に必要な放流用・養殖用種苗の斡旋・配布を実施した。

【令和 6 年度種苗配布実績】

種苗名	規格	配布数
キジハタ	平均全長 80 mm、100 mm	28,300 尾
カサゴ	平均全長 100 mm	2,450 尾
アカアマダイ	平均全長 70 mm	6,500 尾
クロアワビ	平均殻長 30～39 mm	63,120 個
同上	平均殻長 40～49 mm	16,842 個
同上	平均殻長 50～79 mm	13,830 個
メガイアワビ	平均殻長 30～49 mm	5,000 個
イワガキ	採苗器 1 枚に 10 個以上付着	121,000 枚
クエ	平均全長 130 mm	7,900 尾
ヒラメ	全長 15～40 cm	700 尾と 75kg
アカウニ	平均殻径 20 mm	34,600 個
鳴門ワカメ	1 枠 17m	41 枠
サザエ	殻高 40～60 mm	292kg

Ⅱ 法人の運営管理

1 会議開催の状況

会議内容、開催日、場所	審 議 内 容
第90回理事会 令和6年6月6日（木） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 令和5年度事業報告及び収支決算承認の件 第2号議案 役員補欠選任の件 第3号議案 第37回通常総会付議事項の件 報 告 事 項 令和5年度事業報告の件 令和6年度事業計画及び収支予算の件 基本財産運用方法の件
第37回総会 令和6年6月25日（火） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 令和5年度収支決算承認の件 第2号議案 令和6年度会費承認の件 第3号議案 役員補欠選任の件 報 告 事 項 令和5年度事業報告の件 令和6年度事業計画及び収支予算の件 基本財産運用方法の件
第91回理事会 令和6年10月28日（月） 松江エクセルホテル東急	第三者調査委員会報告を受けての対応について
第92回理事会 令和6年12月10日（火） 松江エクセルホテル東急	報 告 事 項 業務執行状況報告 そ の 他 第三者調査委員会報告を受けての対応について
第93回理事会 令和7年2月13日（木） 松江エクセルホテル東急	第1号議案 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件 報 告 事 項 令和7年度の会議予定 令和7年度の会費について 基本財産運用方法について そ の 他 第三者調査委員会報告を受けての対応について

2 外部会議等への参加状況

開催月日	会議名	開催場所
6月28日	島根県水難救済会総会第25回通常総会	松江市
10月10日 ～11日	日本海栽培漁業センター所長連絡会議 日本海栽培漁業センター研究連絡会議	京都府
10月31日	第38回11府県水産公益法人担当者会議	富山市
11月10日	第43回全国豊かな海づくり大会	大分市
11月12日	農林漁業団体人権同和対策推進担当者等啓発研修会	松江市
令和7年 1月30日	西日本種苗生産機関連絡協議会（場・所長会議）	大阪市

3 研修等の実施状況

開催月日	会議名	開催場所
11月22日	ハラスメント防止研修	松江市
12月 6日	ハラスメント防止研修	西ノ島町